

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】令和 4 年 3 月 7 日(2022.3.7)

【公開番号】特開 2020-165024(P2020-165024A)

【公開日】令和 2 年 10 月 8 日(2020.10.8)

【年通号数】公開・登録公報 2020-041

【出願番号】特願 2019-65856(P2019-65856)

【国際特許分類】

D 0 6 P 5/24(2006.01)

B 4 4 C 1/17(2006.01)

B 4 1 M 5/00(2006.01)

【F I】

D 0 6 P 5/24 Z

B 4 4 C 1/17 J

B 4 4 C 1/17 E

B 4 1 M 5/00 1 0 0

B 4 1 M 5/00 1 2 0

B 4 1 M 5/00 1 1 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 2 月 25 日(2022.2.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フォトクロミック樹脂体の製造方法であって、
昇華性を有する昇華性フォトクロミック染料を基体に塗布することで、機能付加用基体を
取得する第 1 工程と、
前記第 1 工程によって取得された前記機能付加用基体を樹脂体と対向させ、前記機能付加
用基体を加熱することによって、前記機能付加用基体に塗布された前記昇華性フォトクロ
ミック染料を昇華させ、前記昇華性フォトクロミック染料を前記樹脂体に付着させる第 2
工程と、
前記第 2 工程によって前記昇華性フォトクロミック染料が付着された前記樹脂体を加熱す
ることによって、前記昇華性フォトクロミック染料を前記樹脂体に定着させる第 3 工程と

を有することを特徴とするフォトクロミック樹脂体の製造方法。

【請求項 2】

請求項 1 のフォトクロミック樹脂体の製造方法において、
前記昇華性フォトクロミック染料は、スピロオキサジン系、ナフトピラン系、スピロピラ
ン系と、フルギド系と、の少なくともいずれかの昇華性フォトクロミック染料であること
を特徴とするフォトクロミック樹脂体の製造方法。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 のフォトクロミック樹脂体の製造方法において、
前記第 2 工程は、前記第 1 工程によって取得された前記機能付加用基体を前記樹脂体と非
接触に対向させ、前記機能付加用基体を加熱することによって、前記機能付加用基体に塗
布された前記昇華性フォトクロミック染料を昇華させ、前記昇華性フォトクロミック染料

10

20

30

40

50

を前記樹脂体に付着させることを特徴とするフォトクロミック樹脂体の製造方法。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれかのフォトクロミック樹脂体の製造方法において、

前記第 1 工程は、前記昇華性フォトクロミック染料を前記基体上に色濃度が変化するように塗布し、

前記第 2 工程は、前記機能付加用基体を加熱することにより前記機能付加用基体に塗布された前記昇華性フォトクロミック染料を昇華させ、前記樹脂体に濃度勾配を有した状態にて前記昇華性フォトクロミック染料を付着させ、

前記第 3 工程は、前記第 2 工程によって、濃度勾配を有した状態にて前記昇華性フォトクロミック染料が付着された前記樹脂体を加熱することによって、前記フォトクロミック染料を前記樹脂体に定着させ、前記樹脂体にフォトクロミック染料によるグラデーションデザインを形成させることを特徴とするフォトクロミック樹脂体の製造方法。

10

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれかのフォトクロミック樹脂体の製造方法において、

前記樹脂体はレンズであることを特徴とするフォトクロミック樹脂体の製造方法。

【請求項 6】

機能付加用基体を樹脂体と対向させ、機能付加用基体を加熱することによって、昇華性フォトクロミック染料を昇華させ、前記昇華性フォトクロミック染料を樹脂体に付着させる工程において使用される機能付加用基体の製造方法であって、

印刷装置のインクジェットヘッドから、前記昇華性フォトクロミック染料を含有する機能付加用インクを基体に向けて吐出することで、前記昇華性フォトクロミック染料を前記基体に印刷することで前記機能付加用基体を取得する第 1 工程を含むことを特徴とする機能付加用基体の製造方法。

20

30

40

50